

オリジナルグッズの製作

秋元 清二

旅先での楽しみの1つにお土産の購入があります。各地にある博物館や美術館では、そこでしか買えない文房具をはじめ、書籍や生活雑貨などの様々なグッズが販売されています。

当館においても、来館の記念となるようなグッズを充実させたいと思い、2種類のオリジナルグッズを新規製作しました。

何をグッズにするか

グッズを新規に製作するにあたり、一番頭を悩ませたのは、グッズを「何」にするかです。実用的でデザインの優れた商品は、博物館の職員が一朝一夕に具体化できるものではありません。そこで自然系の博物館という独自性を活かすことにしました。

また、今年度は特別展「埼玉記念物100年」という天然記念物に焦点を当てた展示を行ったことから、展示に関連するグッズを製作したいと思いました。

オリジナルクリアファイルの製作

特別展では、埼玉県を舞台にした漫画「埼玉の女子高生ってどう思いますか？」とコラボし、原作者にチラシやポスターのデザインをお願いしました。

漫画の主人公である、かわいい女子高生たちのキャラクターが描かれた緻密な描き込みやデザイン画をもっと活用できないかという点から、実用的でデザイン面積も広くとれるクリアファイルをグッズにしました。

完成したデザインは、登場人物が当館や天然記念物を訪ねる様子が描かれたものになっています。



左：田島ヶ原サクラソウ自生地 右：自然の博物館内

このままでもオリジナルグッズとするのに十分ですが、もう1つ手を加えました。クリアファイルの「挟む」という機能を活かして、展示解説リーフレットを挟むと、キャラクターが別の場所を訪ねているようになる構成を考えました。その際、クリアファイルとリーフレットそ

れぞれにある、「埼玉県立自然の博物館」の文字が、ズレなく重なるようデザイン調整することにこだわりました。完成したクリアファイルとリーフレットの文字がピタリと嵌った時には苦勞の甲斐があったと感じました。



リーフレットを挟むことで絵柄が早変わり
中央：元荒川ムサシミヨ自生地 右：ようばけ

天然記念物を使用したストラップの製作

天然記念物関係でもう1点何かグッズを作れないかと考えていたところ、越生町にある県天然記念物「上谷の大クス」が一部倒伏してしまった際、この木材を保管している方と会う機会があり、これを用いたストラップの製作を思いつきました。

ストラップは中約5cmの小さなものですが、絵馬型で裏面には願い事を記入でき、クスの樹に特有な樟腦の香りがほのかにします。



製作したストラップ
イラストは当館マスコット大野原治（パレオパラドキシア）

おわりに

グッズは製作して終わりではなく、来館者の方に手に取ってもらうことで、その役割が果たされることとなります。このオリジナルグッズが、博物館を訪れた時の思い出を呼び起こし、「行ってよかったな」「また行きたいな」と感じてもらえる要素の1つになれば、有難く思います。

(あきもと せいじ・主任)